

新規就農先輩の軌跡 No.121

| | |
|--|--|
| <p>新規就農者の素顔</p> | <p>農業経営の状況(現在)</p> |
| <div data-bbox="231 297 727 629" data-label="Image"> </div> <p>氏名：馬淵 亮 (まぶち りょう) 住所：加西市倉谷町 年齢：27歳</p> | <p>農地：70a(借地70a) 経営内容：ぶどう 70a 露地(56a) ハウス(14a) 労働力：本人、妻 出荷先：直売所</p> <div data-bbox="855 555 1394 842" data-label="Image"> </div> <p>直売所でのぶどう販売風景</p> |
| <p>就農から現在まで</p> | <p>就農で良かった点、苦労した点</p> |
| <p>2012年 海外農業研修(18ヶ月) 2014年 就農促進事業で12ヶ月研修 2015年 就農(農地面積10a) 2016年～2019年 農地面積70aまで拡大 現在に至る</p> | <p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族との時間が確保できる。 ・地域の人たちが応援してくれる。 <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培が上手くいかない時がある。 ・繁忙期は忙しく休みが取れない。 |
| <p>農業をめざした動機</p> | <p>後輩へ贈る言葉</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の時から、農業に興味があり、志していた。進学した兵庫県立農業大学校では果樹を専攻し、就農促進研修事業で研修したぶどう農家がきっかけとなり、ぶどう農家を目指した。 ・若い農業生産者が少ない中、どれだけでもか自分の力を試してみたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新しい場所で新規参入として農業を行うためには栽培技術だけでなく、地域の人々の理解、信頼を得る必要があります。そのためには地域の活動に参加することや、大きな声で挨拶をして、地域の人たちと親睦を深めることが大切です。そうすることで農業だけでなく、普段の生活でも助けてもらうこともあります。 ・新規就農を目指す皆さん、元気に挨拶しましょう。 |